

事業計画書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

公益社団法人日本バイアスロン連盟

当法人は、我が国におけるバイアスロン競技を統括し、当該競技の普及及び振興を図ることにより、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的として次の事業を実施する。

1 公益目的事業【バイアスロン競技の普及振興事業】

(1) 競技の普及に関する事業（定款第5条第1項第1号の事業）

① バイアスロン競技体験会及びイベントの開催

ア ミニバイアスロン大会 IN 阿仁（秋田県）

・・・JSC（独立行政法人日本スポーツ振興センター）スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）

スポーツ団体がスポーツの振興のために行う事業に対して助成することにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフのための環境づくりと、競技水準の向上を図ることを目的とする。【JSC くじ助成事業実施要綱のスポーツ団体スポーツ活動助成実施要項より】

秋田県バイアスロン連合に委託して事業を実施（委託内容：大会運営全般）

クロスカントリースキーとレーザーライフル射撃による競技会であり対象者の制限なし。

イ 西日本バイアスロン選手権大会ミニバイアスロン競技会

レーザーライフルによるバイアスロン競技会を連盟による独自事業として行う。

昨年度日程 2025年3月2日

場所 上平バイアスロン競技場（富山県南砺市）

ウ バイアスロンバッジテスト 2025

・・・JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）

目的は同上

北海道バイアスロン連盟に委託して事業を実施（委託内容：事業運営全般）

対象者は小学4年生から中学3年生まで。競技の普及と競技者発掘を狙いとしている。

エ バイアスロン研修・講習会事業

・・・JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）

目的は同上

日本連盟が主催・各加盟団体を主管として協働実施（昨年度実績：北海道、山形県、埼玉県、兵庫県の各 PF）。必要な資材の調達や人材の供給は地方加盟団体のニーズを汲みながら日本連盟が主体となて行う。

事業内容としては、競技の普及及び競技者発掘を狙いとしたランニングとレーザーライフルによるバイアスロン競技体験会や講習会を実施。対象者は各地域の状況及び各加盟団体の要望等を踏まえて実施する。対象者の年齢制限は原則なし。

オ レーザーバイアスロンジャパンカップ

・・・JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）

目的は同上

北海道、岩手県、埼玉県、兵庫県の各 PF を主管として開催

夏季にレーザーライフルによるバイアスロン競技会を北海道・東北・関東・関西の各エリアで開催することを通じ、競技の普及を行う。

また、併せて選手発掘・育成及び競技力向上の促進を図る。

② 公式 SNS（X（旧 Twitter））の活用

バイアスロン競技の魅力を広く発信するため、競技成績や大会の様子・国内外の合宿の様子はもちろん、より目を引くコンテンツの工夫や検討に取組む。また、動画の積極的な活用を目的に、YouTube によるライブ中継並びに選手や若手コーチ・関係者によるバイアスロン解説等のコンテンツを検討していく。

③ バイアスロンの広報・情報提供事業

JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）

スポーツ団体がスポーツの振興のために行う事業に対して助成することにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフのための環境づくりと、競技水準の向上を図ることを目的とし、【JSC くじ助成

事業実施要綱のスポーツ団体スポーツ活動助成実施要項より】次の事業を行う。

- ア ホームページのリニューアル・リストラクチャー
- イ 『クロニクル叢書 05』と『バイアスロン・ヒストリー』の発刊
- ウ 新たな『バイアスロン連盟パンフレット（仮題）』の制作

④ アンチ・ドーピングに関する事業

- ア ドーピング検査推進事業
JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）
国内においてドーピング検査を行う事業（実施主体：JADA（日本アンチ・ドーピング機構））
- イ ドーピング防止啓発活動推進事業
JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）
ドーピングに関する研修会や教育・啓発活動を競技団体参加の関係者に対して実施する事業

（２）競技力の向上に関する事業（定款第５条第１項第２号の事業）

① ミラノ・コルティナ 2026 オリンピック個人 30 位、リレー15 位を目標として若手選手の走力及び射撃力を段階的に強化する選手強化事業

・・・選手強化 NF 事業（JOC）

JOC 加盟競技団体が強化戦略プラン等に基づき、計画的かつ継続的に実施する選手強化事業等に対して補助し、国際競技力の向上を図ることを目的とする。【選手強化 NF 事業補助金交付要綱より】

- ア 連盟強化合宿の実施
- イ チーム合宿の視察、現場指導の実施
- ウ 海外派遣選手選考記録会（サマーバイアスロン日本選手権大会及び札幌記録会）への参加
- エ 海外競技会への参加に係るチーム派遣（IBU（国際バイアスロン連合）ワールドカップ、IBU カップ、世界選手権大会、アジア冬季大会等）

② 向上心を持つトップアスリート育成・強化事業

・・・選手強化 NF 事業、コーチ等設置事業（JOC）

JSC スポーツ振興くじ助成事業（将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成）
競技団体が行う競技特性に基づく将来性を有する競技者の発掘及び一貫指導の下での育成を行う事業について助成することにより、中央レベルから地域レベルまでが一体となった優れた資質を有する競技者の組織的・継続的な育成及び発掘を図ることを目的とする。

【JSC くじ助成事業実施要綱の将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成実施要項より】

- ア 合宿の実施
これまでのような前例踏襲型の合宿計画ではなく、強化戦略プランに基づき、科学的知見と思考に裏打ちされた計画に基づき、戦略的な国内外での強化合宿を実施する。
- イ 講習会の実施
海外優秀コーチ設置事業(JOC)の活用により、外国人コーチを日本に招聘し講習会を実施する。
講習会の内容や狙いは強化戦略プランとの整合に十分留意する。
- ウ 大会等への参加
海外での大会、競技会のみならず国内での競技会にも戦略的に参加し、実践の中での強化を図る。また、バイアスロンのみならず、クロスカントリースキーの各種大会への参加によりスキー走力の強化を効果的に狙えると判断された選手には積極的な参加を促していく。
また、海外大会への参加に当たって外国人ワックスマンを公募により登用し、マテリアルに関する最新の知見と技術を導入することをもって競技力のさらなる向上を図る。

③ 地域及びナショナルチームまでのレベルに応じたコーチ及び審判員の養成・育成事業

・・・指導者育成事業（JSP0） スポーツ指導者を育成することを目的とする。

- ア JSP0（公益財団法人日本スポーツ協会）公認バイアスロンコーチ 1 の養成
- イ JSP0（公益財団法人日本スポーツ協会）公認バイアスロンコーチ 3 の養成

「コーチ 1」：基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する者を養成する。

「コーチ3」：世界で活躍出来る日本トップレベル選手の国際大会等の監督やヘッドコーチ等の責任者として、安全で効果的な活動を提供するとともに、指導計画を構築、実行、評価し監督することと併せて、コーチ間の関わり及び成長を支援する者を養成する。

ウ 国内審判員の養成

エ 国際審判員（IR）の養成

④ 2026、2030 オリンピックで成果が期待される選手を中心に強化・育成を図る次世代アスリート育成強化事業

ア ユース・ジュニア世界選手権大会参加

・・・選手強化NF事業（JOC）

JOC 加盟競技団体が強化戦略プラン等に基づき、計画的かつ継続的に実施する選手強化事業等に対して補助し、国際競技力の向上を図ることを目的とする。【選手強化NF事業補助金交付要綱より】

⑤ 選手強化に関する科学的及びスポーツ医学的エビデンスの調査研究とその応用を図る事業

ア 運動生理学及び心理学等スポーツ科学の専門的な見地による測定の実施

イ 科学的エビデンスに基づいた選手強化指導及びトレーニングサポートの実施

⑥ より高性能な競技用具（マテリアル）を提供するための調査研究等

ア フッ素ワックスフリー等に関する技術講習にマテリアル部会員を派遣

イ 国内外大会の現場における実践を通じたサポート体制及び正確なデータ収集の強化

⑦ 競技力の強化に必要なトレーニング環境及びスポーツ医・科学、情報等によるサポート体制の整備充実を行う NTC 競技別強化拠点機能強化事業（強化拠点の環境整備事業） スポーツ庁委託事業

NTC：ナショナルトレーニングセンター

ア コース整備

夏季は除草作業、冬季は圧雪作業を行う。

イ 医・科学サポート

体力測定結果等を医・科学の専門的な見地から分析を行い、現場にフィードバックを行う。

ウ 備品購入

レーザーライフル及びび的（50m 用）を購入

エ 備品以外の用具・物品購入

スキャットトリガーセンサー等射撃能力向上のための物品、乳酸測定チップ等体力測定実施のための物品、走力分析・動画解析等のためにタブレット端末等の物品を購入する。

⑧ IBU 主催による各種事業へ参加

ア IBU コーチ教育（ベーシックコース）参加

海外の最新コーチング技術を習得した国際レベルのコーチを中長期的に養成していく。

今年度参加予定者 後藤豊貴（JOC 国際人養成アカデミー（JISLA）修了者）

今年度予定期間

2025 年 4 月 24 日～30 日、ザルツブルク/オーストリア及びルポルディング/ドイツ

イ 2025 Youth and Junior IBU-IOC Training camp and Summer biathlon への参加

海外の若手選手と実際に合同トレーニングを実施することを通して、国際的な競技レベルを肌で感じ、将来の競技目標設定と競技力向上に役立てる。

ウ IBU NF Partnerships (Asian Training camp) の実施

IBU が派遣する優秀コーチを国内に招集し、合宿形式のトレーニングを行う。

専門的技術の習得及び世界の最新情報や知見等をダイレクトに掌握することを目的に実施する。

（3）競技大会の開催に関する事業（定款第 5 条第 1 項第 3 号の事業）

① 第 37 回サマーバイアスロン日本選手権大会

JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）

スポーツ団体がスポーツの振興のために行う事業に対して助成することにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフのための環境づくりと、競技水準の向上を図ることを目的とする。【JSC くじ助成

事業実施要綱のスポーツ団体スポーツ活動助成実施要項より】

昨年度日程 2024 年 9 月 26 日（木）ショートインディビジュアル

2024 年 9 月 28 日（土）・9 月 29 日（日）スプリント

場所 西岡バイアスロン競技場（北海道札幌市）

② 第 62 回バイアスロン日本選手権大会

JSC スポーツ振興基金助成事業

国際的又は全国的な規模のスポーツの競技会、研究集会又は講習会の開催に対して助成を行うことにより、我が国のスポーツの振興を図ることを目的とする。【JSC 基金助成事業実施要綱より】

昨年度日程 2025 年 3 月 5 日（水）～3 月 6 日（木）

場所 西岡バイアスロン競技場（北海道札幌市）

③ 第 97 回宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技（共催事業→主催者：札幌スキー連盟）

昨年度日程 バイアスロン リレー／2025 年 3 月 1 日（土）

バイアスロン インディビジュアル／2025 年 3 月 2 日（日）

場所 西岡バイアスロン競技場（北海道札幌市）

④ 第 35 回東日本バイアスロン選手権大会

JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）

スポーツ団体がスポーツの振興のために行う事業に対して助成することにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフのための環境づくりと、競技水準の向上を図ることを目的とする。【JSC くじ助成事業実施要綱のスポーツ団体スポーツ活動助成実施要項より】

昨年度日程 2025 年 1 月 25 日（土）～26 日（日）

場所 田山バイアスロン競技場（岩手県八幡平市）

⑤ 第 1 回西日本サマーバイアスロン選手権大会

JSC スポーツ振興くじ助成事業（スポーツ団体スポーツ活動助成）

目的は同上

兵庫県バイアスロン連盟を主管団体として実施

場所 兵庫県内を予定

2 収益事業等 なし